



文教大学 父母と教職員の会

会報113号

発行 文教大学父母と教職員の会 発行日 平成27年4月1日
〒343-8511 越谷市南荻島3337
越谷 ☎048-974-8811 FAX. 048-977-7791
湘南 ☎0467-53-2111 FAX. 0467-54-5721
ホームページ <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/> e-mail: fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp



越谷キャンパス：左上・右下 湘南キャンパス：右上・左下

目次

「再会」	… 2
26年度入学試験状況報告	… 3
ご退職なさる教職員の皆様から	… 4
学長・学部長ご挨拶	… 6
都道府県のページ	… 7
(第23回長野県支部)	… 8
第二回 西風会開催	… 9
「西風会」合同研修会に参加して	… 9
シリーズ「現場から見た	… 9
昨今の文教大生気質」⑥	… 10
支部派遣教職員報告 その⑮	… 10
福島中通り支部研修会	… 11
栃木県支部研修会	… 11
学内訪問「どんなところ？」	… 11
越谷校舎保健センター	… 12
平成27年度	… 13
父母のための「一日大学スケジュール	… 12
年間行事予定(湘南・越谷)	… 13
学生活動紹介	… 13
合唱団コールリント(越谷)	… 14
情報社会研究会(湘南)	… 14
生涯学習センターからのお知らせ	… 15
保護者説明会	… 15
(国際学部・経営学部)	… 16
課外活動表彰者一覧	… 16

平成二十六年

卒業式

「再会」

会長 齋藤 浩二



文教大学父母と教職員の会を代表し、

心からお祝い申し上げます。そして保護者の皆様、本日はひとかたならぬお慶びを感じていらっしゃるのと重ねてお祝い申し上げます。

また、渡辺理事長や野島学長をはじめ教職員の皆様には、今までのご教授、ご指導をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、本日まで卒業を迎えた皆さんが、入学された4年前の出来事は記憶に新しい事と思います。今まで経験したことのない未曾有の災害が、入学される数週間前に起こり、不安と悲しみのなかで入学されたことでしょう。

あの経験は決して忘れることはできませんが、仲間と集い、勉学に励み、部活動やサークル活動を通して、不安と悲しみを克服するすべをこの文教大学で身につけたのではないかと

思います。

今日、この文教大学を卒業し、新しい社会へ巣立っていく皆さんの前途には、限りない可能性が広がっていることは確かです。

私が皆さんぐらいいの時には、スマホはおろかガラケーもない時代でした。

そう思うと、今から30年後に皆さんが、保護者として自分の子ども達の卒業式に参列される時が来るのがとても楽しみです。しかしながら、その時を迎えるに当たり、楽しい事や苦しい事、うれしい事や悲しい事が今後皆さんの人生に多々あります。そんな時に、あの楽しかった大学生の時に戻りたくなく、残念ながら時間を巻き戻すことはできません。ただ、その想いを次の世代に受けついでいってもらうことはできます。これから皆さんが社会に出て、家庭を築き、やがて子どもが生まれ、親としてその子ども達に伝えていくべきものが沢山あります。

自分が成し得たことや、成し得なかったこと。子ども達にしてもらいたい

ことや、させたいこと。その中の一つに、この文教大学で過ごした想いを伝えて頂きたいと思えます。そして私は確信しております。きつと皆さんの想いを受けついで子ども達が、また文教大学に戻ってきてくれることを。そして今度は、皆さんが保護者としてこの父母と教職員の会で活躍をし、子ども達を見守っていつてくれることを。

その時には、文教大学は創立100周年を超え、また、父母と教職員の会も60周年という長い歴史を刻んでいます。皆さんが過ごした4年間と言う時間は、この歴史の中ではわずかな時かもしれませんが。しかしその想いは、幾度となく引き継がれていくものと私は信じております。

最後になりますが、保護者の皆様には、4年間の長い間、父母と教職員の会にご理解ご協力を頂き誠に有難うございました。この場をお借りいたしまして改めて御礼申し上げますとともに、卒業生の皆さんの益々のご活躍と、ご家族皆様方のご健勝、文教大学の益々のご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとう

◎ 大学院

言語文化研究科 9名
人間科学研究科 18名
教育学研究科 5名
情報学研究科 1名
国際協力学研究科 2名

◎ 専攻科教育専攻科

◎ 外国人留学生別科

◎ 教育学部

学校教育課程 248名
心理教育課程 103名

◎ 人間科学部

人間科学科 142名
臨床心理学科 123名
心理学科 150名

◎ 情報学部

広報学 138名
経営情報学 123名
情報システム学 142名

◎ 文学部

日本語日本文学科 146名
英米語英米文学科 133名
中国語中国文学科 103名

◎ 国際学部

国際理解学科 114名
国際観光学科 142名

◎ 健康栄養学部

管理栄養学科 90名

27年度 入学試験状況報告

たくさんの宿題

入学センター長 近藤 研至

社会的にも受験環境的にも大きな変動期の中、全国のいろいろな大学が今回の入試の動向についてかなり神経質になっていました。

本学が今回新しく導入した試みは以下の通りです。地区入試では、選択科目に「生物」を導入したことで、新しく「高崎会場」を追加したことでした。A日程1期入試では、選択科目として「数学Ⅰ・A・Ⅱ・B」を追加したことで、東京会場を従来二日間だったところを三日間にしたことでした。また今回から、出願においてインターネット出願を導入したことでした。こうした備えをして臨んだのですが、かなり厳しい現実を突き付けられた結果となりました。文学部の大健闘があるものの、ほとんどの学部で志願者を減らしたのです。

今回の入試結果は、かなり大きな戦略上の対策を早急にとらなければならぬことを示しております。か

と違って、拙速で動くことで大きな失敗をしてしまうかもしれない恐れもあります。迅速に慎重に。とにかく早期の分析と、できる限りの手を打つことで、これから押し寄せてくるであろう「波」を乗り越えなければなりません。このように、たくさん宿題をいただいた今回の入試結果でした。今回の入試にご協力いただきましたことに心より感謝を申し上げますとともに、更なるご協力を賜りますこと、お願い申し上げます。

そんな中、文教大学を選んでくれた新入生たちが、桜でにぎわうキャンパスを、桜がかすむほどに彩ってくれています。この風景は、しばらく入試のことを忘れさせてくれます。春は好きです。

しかし：我家には高校2年生の息子がいます。私が必要な仕事を終え、ボーとしているのに、「さて、いよいよ受験だ！」という雰囲気を出しまくっている妻と息子。しばらく父を放っておいてくれ。受験モードに入りつつある環境を感じながらも、こたつに潜り込んでの狸寝入り。いつまでもこのこたつを取らないで。春は嫌いです…

平成27年度 文教大学入学志願者数

学部	学科・課程・専修・コース	入学志願者数							合計
		AO入試	推薦入試	地区入試	大学入試センター試験利用入試	A日程入試	B日程入試	付属高校対象学力入試	
教 育 学 部	国語専修		36	184	327	659			1,206
	社会専修		24	151	269	550			994
	数学専修		28	191	328	631			1,178
	理科専修		13	115	216	403			747
	音楽専修		12	37	39	117			205
	美術専修	10	4	5	31	34			84
	体育専修		43	57	78	298			476
	家庭専修		11	45	79	132			267
	特別支援教育専修		15	48	86	145			294
	課程計	10	186	833	1,453	2,969			5,451
心理教育課程	児童心理教育コース		27	111	159	320			617
	幼児心理教育コース		49	85	110	260			504
	課程計		76	196	269	580			1,121
学部計	10	262	1,029	1,722	3,549			6,572	
人間科学部	人間科学科		67	167	288	410	56		988
	臨床心理学科		57	134	231	278	25		725
	心理学科		58	147	356	266	47		874
	学部計		182	448	875	954	128		2,587
文学部	日本語日本文学科		82	122	388	361	72		1,025
	英米語英米文学科		56	69	282	350	47		804
	中国語中国文学科		40	47	93	96	17		293
	学部計		178	238	763	807	136		2,122
情報学部	情報システム学科	31	56	25	129	88	20	3	352
	情報社会学科	15	19	13	144	58	17	1	267
	メディア表現学科	20	48	42	206	136	16	1	469
	学部計	66	123	80	479	282	53	5	1,088
国際学部	国際理解学科	5	55	67	266	134	23	1	551
	国際観光学科	16	59	69	198	183	16	3	544
	学部計	21	114	136	464	317	39	4	1,095
健康栄養学部	管理栄養学科	38	35	70	118	195	48		504
	学部計	38	35	70	118	195	48		504
経営学部	経営学科	38	65	39	354	133	40	5	674
	学部計	38	65	39	354	133	40	5	674
合計		173	959	2,040	4,775	6,237	444	14	14,642



ますますのご活躍を

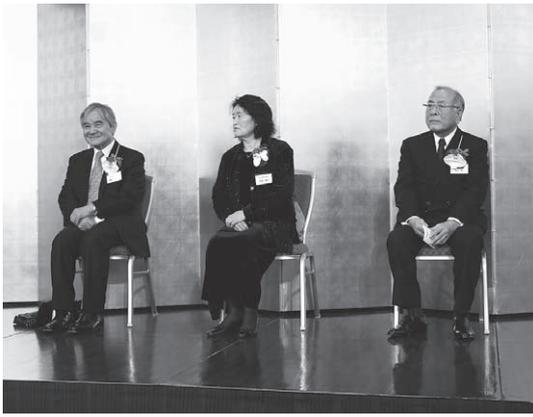
先生方からのアドバイスを活動に生かします

ご退職される教職員のみなさまへ

事務局長 惠羅 博

春は卒業式の季節です。勉学を目度く修了され、学園から巣立たれる学生諸君とともに、永年の勤務を修了され、第二の人生へ門出される教職員の方々へも、「おめでとうございます」の言葉を申し上げたく存じます。

今年度ご退職されるのは、教員4名、職員2名の方々です。全国各地の支部総会等へのご出席や、運営委員としての活動など、本会の力になって頂いた



ご退職される先生方

方々ばかりです。また、本会立ち上げ時期から、見守って頂いた方々もいらつしやいます。

ご退職にあたり本会へのメッセージをお願ひしたところ、全員快くお引き受けくださり、今号を飾るページとなりました。長年のご貢献に深く感謝申し上げますとともに、6名の方々の今後のご活躍を祈念いたしたいと存じます。

定年退職・幾多の想いを胸に

教育学部教授 藤原 正光



教育学部助手として赴任してから36年半、一瞬のうちに過ぎてしまいました。

故蒲生教授（社会専修）や故後藤植根教授（人科）をはじめ多くの先輩諸氏に誘われて創設当初の「父母教」に携わりました。

「阿波踊り」最中の徳島県支部、稲穂たなびく山形路、懐かしい卒業生に再会した岩手県支部等、たくさん支部を訪れたことが昨日のこ

思い出されます。

1998年から2005年まで「越谷就職委員長及び学長補佐」を拝命しました。教員就職・企業就職ともに「冬の時代」でした。就職課員や父母教の皆さまと共に「悪戦苦闘」したことが懐かしく思い出されます。文教大学の「人間愛」を肌で感じた時代でした。全国で活躍されている文教大学卒業生の皆さまは、「人間愛」を胸に力の限り活躍している筈です。

定年後も皆さまと共に、父母教の行く末を「温かく」見守っていく所存です。ありがとうございました。

文教大学に支えられて

人間科学部教授 土沼 雅子



私は、立正女子大学・文教大学人間科学部に45年間在職し、人生の大半を文教大

学で過ごしました。文教大学の居心地の良さとともに父母や教職員の皆様のあたたかさ、私をいつも支えて下さったからだと心から感謝しています。

また最終講義では文教大学1期生から最近の卒業生までほぼ250人が全国から駆け付けてくれました。幼い子どもを見せに来た人や配偶者を連れて

来た人など、懐かしい元学生さんたちに囲まれて教員をしてきてよかったと思える素晴らしい時間をいただきました。

私は臨床心理学を専門とし、自己探求と自己実現、そして内なる叡智の声を聴くということを伝えてきたつもりです。これからも「若きは麗し、されど老いたるは、なお麗し」（ホイットマン）の心境で老いと死に向き合い、若者に人生の意味を伝えたいと思います。文教大学と父母と教職員の会の発展を祈念し、今後も感謝と応援を続けていくつもりです。ありがとうございました。

退職にあたって

文学部教授 稲垣 泰一



私は平成22年（2010）4月に、縁あって文教大学文学部に赴任しました。ま

る5年という短い期間でしたが、とても居心地のよい職場環境でした。教職員の皆さまには大変お世話になり、心から感謝しています。

文教大学は教員志望が多いせいか、根が真面目で純朴な学生が大半です。講義も静かに、熱心に聴いてくれまし

た。学生とは親しく宴会も行いました。先生方も教育・研究熱心で、教員・助手・職員・学生とが丸となって、勉強や諸行事にいそしんでいる雰囲気です。

私は5年間学生委員を務めましたので、父母と教職員の会・藍蓼会の両外郭団体が、学生生活・クラブ活動・学園祭などにさまざまな支援を行っていることを承知しています。誠にありがたく、力強い限りです。ご父母・卒業生の皆さまの愛校心の賜物です。今後ともこの紐帯を強固にさせていただきたいと思えます。

考え・チャレンジする人を

健康栄養学部教授 肥後 温子



学生に実験させてレポートを書かせるみると、実験内容に関連する『参考資料』

はかなりよく調べているが、なぜ実験結果のような差が出たかを『考察』させると、大学生とは思えないほどできが悪い。詰め込み教育の弊害で、考えない学生が増えているためと思う。

私はフリーで仕事をしてきたために、企業関係者やジャーナリズム関係者、各界の著名人や一代で財を築いた社長さんらと知り合いになる機会が多かつ

た。成功者に共通しているのは、よく調べ、よく考え、タイミングをみて考えてきたことを『かたち』にしていることである。

第四次産業革命によるロボット化が進むと、クリエイティブな人やアーティストしか生き残れないと言われていく。文教にはおとなしく性格の良い学生は多いが、不言実行ではなく、考え、創造し、時に挑戦する学生を育てたいと思ってきた。ひとこと若者に言葉を送るとしたら、『チャレンジしなさい』と書いてあげたい。

退職にあたって

大学事務局参与 俣野 照近



学園に勤務して44年経ちました。「父母と教職員の会」発足後、いくつかの支部立ち上げの

為に出かけて行ったことを思い出します。発足当初は「大学でPTAの会が必要なの？」と批判的な意見もありましたが、他大学にはない特色を持っていただけでしょうか。会員数も多く活発な活動をしてきたように思います。支部立ち上げ後も全国の支部総会へ出席させていただきました。この会も40年近く経ち、紆余曲折ありましたが、「全員会員を徹底する」として入会手続き者数を増やし、手続き者の様々なメリットを提案して保護者や学生の支援をしてきました。

文教大学は2キャンパスあり学部構成も違い、当然学生規模（人数）も保護者や学生のニーズも、例えばキャンパスのイベントによって企画内容や参加人数も違ってきますので、支援の内容も違って当然のように思います。規約に定めた目的や目的達成のための事業の実行、更に新規の大学事業（特に学生・保護者支援の企画など）がありますので、大学との連携も視野に迅速な情報収集や相談体制を取れることを期待します。

「お世話になりました」

越谷生涯学習課長 天川 咲子



文教大学学園に勤務して41年となります。この41年の間に文教大

女共学、キャンパス移転等様々な進化を繰り返し、幼稚園から大学院等まで有する総合学園にまで成長して参りました。私は湘南キャンパスで教務課に配属されました時、初めて「父母と教職員の会」を担当させて頂きました。支部が北から南まで全国にあり、活発に活動なされていることに驚きを持ちましたことを記憶しております。時代が変化していく中で、お子様たちの勉強面の向上や有意義な学生生活の為に、ご父母の皆様方と教職員との情報交換が更に必要な時を迎えていると思えます。

また、文教大学は地域の方々とも積極的に交流をしており、学生の皆さんを温かく見守って頂いております。文教大学は保護者の皆様、学生の方々、地域の皆様そして教職員の輪で成り立っており、これこそ本学園の礎と感じ入っております。最後になりましたが、今後も父母と教職員の会が更に発展していく事を心よりお祈りいたします。長い間、有難うございました。



「ご退職なさる教職員を囲む会」の会場の様子

学長・学部長ご挨拶

「文教が好きです」

文教大学学長 野島 正也



少し古い言い方ですが、ネットサーフィンをしていただけ、大学生や卒業生が受験生に大学の魅力を伝えるという趣向のページを見つけました。多少の不安を持ちながら文教大学のページを開くと、これがなかなかいいことを書いています。

「春は桜並木がとてもきれいです。」
「学校までの川沿いの道をお散歩気分で行きます。」
「アヒルやカモ、人懐っこい猫もいて、のんびりした時間が流れています。」
「校舎は広過ぎないので移動しやすいと思います。」（越谷校舎）
「大学がバスの最初の乗り場になっているので、乗ったら駅に着くまで寝ていても平気です。」
「校舎は赤レンガできれいで学食も安く美味しかったです。パソコンが多くあるので校舎内で課題をこなすことができます。」
（湘南校舎）

たしかに越谷校舎の敷地は広いとは言いいにくい。湘南校舎は駅に近いとは

言いいにくい。でも、彼らはそれをかこつことをしません。

「面倒見のよい友人や先輩が多いです。」
「個人的にお話するのが楽しい先生方が多い。」（越谷校舎）

「おしゃれな人がたくさんいる。個性的な人もいます。」
「人数的にも多すぎず少なすぎずの授業が多いので、積極的に学ぼうと思えば、教授と近い距離で学べる。」（湘南校舎）など。

こんなのもありました。「とくに大
学名にブランド効果もなく、期待できない。自身がどれだけ頑張ったかのよ
うなことを学んだかを言えるかが鍵。」
有名伝統校と比較すれば、文教ブラン
ドはこれからです。就活で日々頑張っ
ている学生には申し訳ない思いがしま
すが、文の後半は、まさにこれからの
文教ブランドの核になるものであり、
心強く感じます。

これらのメッセージを通して感じる
のは、彼らが文教大学の「いいところ探
し」をしていくことだと思います。その背後
にある根っ子の気持ちは「文教が好き
です」ということではないでしょうか。
この大学をもっとよくとくしたい。
これからもご支援、よろしくお願
いいたします。

高い質の高い教育を目指して

教育学部長 柳田 孝義



新年度から学部長に
就任いたしました。教
育学部は本学で最も長
い歴史を持つ学部とし
て多くの卒業生が教育界で活躍して
おりますが、これも皆様の温かいご支
援によるものと感謝しております。

本学部では来年度から英語専修を開設
する準備を進めています。小学校での外
国語が教科となりこれを担う教員が求
められていること、さらに本学への進
学希望者はもとより、高校教員からも
期待の声が高まっていることに応えよ
うとします。本学は全国の私立大学で
就職率第1位の実績を保持してしまし
た。数年前に予想される教員需要の減
少を見据え、今後いっそう質の高い
丁寧な教育を学生に提供していく所
存です。

人間科学と生活科学

人間科学部長 谷口 清



先卒業生の結婚式
に招かれ、ご家族と
目にかかる機会を
いただきました。その卒業
生の明るさ、積極性を
はぐくんできた豊かな

家族愛に触れ、大変幸せな気分でした。

人間科学部は来年初創設40周年を迎え
ます。本学部は家政学部の発展的改組
によって生まれ、人間の本質に生活を
科学することを通して迫る、実践・実
証科学を担っています。

戦後、日本と世界は農村型社会から都
市化を伴う高度産業社会、国際化を伴
う高度情報化社会へと変貌を遂げて
います。その間に私たちの生活様式は
大きく変わりました。その生活実感
から生まれた疑問に果敢に取り組む
ことで、学生たちは社会に何が必
要かを発見し、社会の重要な人間
として巣立っていきます。そんな
学生を育てる人間科学部に、引き
続き温かなご支援をよろしくお願いいたします。

「文学」だけではない文学部

文学部長 宮武 利江



この4月より、文学
部長という大任を仰
せつかり緊張して
います。が、学部、そして大学
のために及ばずながら尽力して参
りたいと存じます。

高校生の減少や理系人気で、文系学
部には逆風の中、我が文教大学文学
部は「教員採用率の高さ」を掲げて健
闘しています。ですが、一般企業に
就職していく学

生が多いのも事実です。私は数年前まで入学センター委員として、高校教員対象の入試説明を担当していましたが、そのときに強調したのが「文学部こそ社会で生きていくために最も大切な力を身につけられる、実学の学部だ」ということでした。ことばのシステムを学び、ことばによる表現に感動できる理解力と、自分の考えを人に伝えられることばの運用能力を習得する一学生に、人生を豊かにするこのような力を手にして羽ばたいて行ってもらえよう、我々教員は丸と丸と心をつくしています。保護者の皆様には今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

情報社会の成熟と発展

情報学部長 釋氏 孝浩



このたび情報学部長を拝命致しました。情報社会学科を新設したとき、情報社会の現

在は成熟期か発展期かという議論がありました。情報社会は、かつて情報「化」社会と呼ばれていました。「化」は、文字通り変化の過程。情報が空気のようになり、いつしか「化」が取れました。黎明期の技術的ブレイクスルーの連続が一段落した現状を成熟期と捉える。これは、

科学者・技術者の視点です。一方、現在は情報を活用して暮らしを豊かにする「発展」の段階です。これは、利用者・生活者の視点です。情報学部の魅力は、こうした多角的な視点や議論が普通に存在する総合性です。社会の変化に柔軟に対応し、「情報」という広範かつ巨大な存在と向き合い、より良い情報学部を皆さんと創っていきたいと思います。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

「小さな失敗の場」とこの学部作り

国際学部長 奥田 孝晴



日頃よりのご支援、心より感謝申し上げます。本学部は1990

年に日本で三番目の国際学部として生まれ、四半世紀の時を刻んできました。この間、健全な批判精神と行動力を備えた「地球市民」の育成に力を注いできましたが、このたび学部が公開した『私たちの国際学の学び』（新評論社）は、リベラルアーツとしての国際学のエッセンスを平易に解説した書で、私どもの学術成果と自負できるものです。国際学部は実践知「現場」を見据えた学びとして学外活動を推奨しています。敢えて「小さな失敗」をさせ、耐久力を身に付けさせるために、「適度な距離感」

が欠かせません。「親離れ・教師離れ」の裏面として、「子離れ」もまた保護者皆様の課題となること、僭越ながら、申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

健康栄養学部の特色と使命

健康栄養学部長 中島 滋



健康栄養学部は平成22年に開設された管理栄養士養成課程であり、

構成です。開設当初から「ココロとカラダの健康を育む管理栄養士の養成」を特色としています。これは、管理栄養士の大切な仕事の一つである「栄養相談」において、対象者とのコミュニケーション能力が求められるからです。管理栄養士養成課程としては全国で唯一、専門教科に心理系の科目を設定しています。この科目の設定に関して、人間科学部の著名な心理系の先生方に貴重なご助言をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。また、社会の多様性にとめない、管理栄養士にも様々な仕事が求められると思います。例を挙げますと、「食育」、「特定保健指導等の未病対策」、「疾病に対応した献立作成や栄養指導」があります。これらの社会のニーズに対応できる管理栄養士を養成することが本学部の重要な使命であ

り、そのために「栄養教諭」、「健康栄養」、「臨床栄養」の3コースを設置しています。健康栄養学部は完成年度を迎えたばかりの発展途上の学部です。これから皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

べん入学おめでとうございます

経営学部長 坪井 順一



経営学部は創設して2年目の新しい学部です。本学部では積極的

に新しいことに取り組み、学生の主体性を高める指導をしています。たとえば、学部には学生会があり、新入生に対する助言、春のスポーツ大会やイベントの企画等、教員と協力して共に楽しみ、有意義な学生生活を送ることができるよう考えています。また、キャリアアップ奨励金により、資格取得や公務員対策などの活動に奨励金を出し、同時に海外留学を推進し、期間に応じた支援金も支給する体制ができています。一週間程度の海外研修も計画され、異文化に接することで何かを得る機会になればと思っています。国内外の語学研修もあり、保護者の皆さまにはご負担をお掛けすることになりますが、お子様の成長のためご理解のほどお願いいたします。

都道府県支部のページ

第23回 長野県支部の巻

日本の屋根から

長野県支部長

藤原 淳



南北に長い長野県は、今年の全国ニュースの話題になることがしばしば有るかと思えます。この寄稿に少

々目を向けて下さい。

ここ長野県は、通常北信・東信・中信・南信の4地区に分類されます。

又、東北信・中南信という2地区にも分類されることもあります。後者の分類はお互いを比べ、競い合うライバル関係にあるような県民性と捉

える方もいます。そんな県民でも県歌『信濃の国』では、きっちりまと

まるといふ一面を持っています。他

都道府県の方には漠然とした表現で

申し訳ありません。南北に長く、山

に囲まれている土地柄ということをご理解下さい。

地区別天気予報が全国を見ても多いというここ長野、話を始めればき

りがありませんか。続きを聞きたい方は是非お声をおかけ下さい。

さて、私の生地である長野市では、今年七年に一度の善光寺御開帳があ

り、これから春先にかけて絶好の観光

日和になります。「牛にひかれて善

光寺参り」全国の老若男女が一度は

お参りをする良い機会です（長野市

は門前町として栄えました）。又北

信を中心にしたオレンジ色のサッカー

ークラブ（J3リーグ所属）が上を目

指して頑張っています。

続いて現在の地である安曇

野は、全国でも有数の山葵産

地であり、田園風景が広がる

風光明媚な所であります。山

葵の仕事柄、父母教の方々にも是非

この地を紹介したいところでもあり

ます。勤務先の商品を、知らず知ら

ずの内に一度は口にしてはいるかもし

れませんか。

同じく中信地区にある城下町とし

て栄えた松本では、緑の旋風が巻き

起ころうとしています。そうJ1初参

戦のチームです。街中はこの話題で

かなり盛り上がりがあります。この緑

のおかげで、私が中高時代サッカー

をしていた熱が湧いてきました。で

も体は衰えるばかりで、応援の翌日

には筋肉痛になっています。

以上個人の独断解釈で、今年の長

野県は全国ニュースの話題になる事

間違いなしと思えます。あの長野県

かと目を向けて下さい。

話を会に向けてみますと、私が父

母教に入るきっかけはいたって簡単

でした。2年前息子が湘南キャンパ

スに入学し、入学金諸々を納める時、

なんかPTAみたいな会だな、と思

いつつ入会いたしました。まさにそ

の通りでありました。

全国でも珍しいと聞いてお

ります。役員決めが嫌だと感

じ、出席を躊躇される方もあ

るようですが、考えを変えれ

ば楽しめる会だと思えます。子ども

の為だと思えば、そんなに畏まらな

くてもと感じます。

長野県支部は、2014年度都道

府県別会員数において8番目という

恵まれた数字になっていますが、総

会出席組数は過去2年をみると一割

強程度に過ぎません。

規約見直しと予算の有効活用が私

を含め、今年度役員の宿題となっ

ています。何か糸口はないかと思案中

ではあります。昨年11月8・9日

の全国支部長研修会、11月29日の湘

南キャンパスでの進路問題研修会、

同日は個別に父母教本部役員への訪

問と活路を求めてみました。

会報を出してもよし、県内会員と

研修旅行もよし、在校生・卒業生を

交えての実体験談もよし、と様々な

方から助言をいただきました。

冒頭話題にしました県内の面積を

考えると、どれだけの方々に興味を

持つていただけるかと不安になりま

す。集まるにもお金がかかる。これ

も引っ掛かりますねー。

昨年9月の支部総会において長と

して選出され、既に半年になろうと

しています。この会報が発刊される

頃には卒業式が終わり、入学式が行

われているでしょう。今年は何人の

方が父母教に入会し、どれだけ興味

を引いてくれるかが役員の動きにか

かっています。会員が少なくとも困

るし、多くても出席をただけない

のでは困るしと、毎年役員になられ

た方々は苦労しているようです。他

県との連携、会議への出席、地元

の方々との連携と、会を楽しくしな

ければなりません。保護者として、子

ども達が楽しい大学生活を送れるよ

う会を盛り上げたいものです。



県花・リンドウ

第二回 西風会開催

西風会幹事（前福岡県支部長）



福久 真吾

去る2月21・22日の両日、北九州市の小倉リーセントホテルで、第二回西風会合同研修会を開催しました。父母教齋藤会長、戸田大学事務局長はじめ、入試センターやキャリア支援課の方々、藍蓼会及び父母教関係者等、総勢19名での会となりました。

今回は、会の立ち上げに伴い「つながる」ことがテーマでしたが、今回は「ゴールとプロセスを共有して、ともに一歩を踏み出す」をねらいとしました。研修は、二つの課題についての講話を受けて、現状の理解を深め、よりよい状況を作り出す手立てを、大学・藍蓼会・父母教の三者で協議するという方法で行いました。

一つ目の課題は、九州地区における受験者数や在籍者数を増やす手立てについてです。学生募集の主体は大学であることを前提として、広報手段の工夫や、高等学校へのアプローチ強化等について具体的な意見交換がなされま

した。

あわせて、藍蓼会や父母教、在校生が地元でネットワークを広げ、その中で文教大学をPRし、輪を広げていくという方向性が共有できたと考えます。二つ目の課題は、支部活動を活性化

する手立てについてです。学生の社会的・経済的自立のためには、キャリア支援が重要であるとの認識に立ち、4年間の親のあり方について考えを深めました。御教示いただいた内容は、九州地区に特化された点が多々あり、私どもにとっては、越谷・湘南両キャンパスで行われる進路問題研修会に匹敵する、否、それ以上に刺激的な内容でした。そして「今日の目の覚めるようなお話を、ぜひ多くの支部会員に届けたい」と強く感じました。

ほどなく新しい季節が巡ってきます。今回の研修が追い風となつて、文教大

学校友の和と輪が広がっていくように！そう願つてやみません。末筆となりましたが、西風会の開催にお力添えいただいた皆様に、心より御礼申し上げますとともに、今後とも御指導、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

「西風会」合同研修会に参加して

大学事務局長 戸田 あきら



2月21・22日の2日間、福岡県小倉に九州各県の父母教、藍蓼会の各県支部長他の皆様がお集まりになり、合同研修会が開催されました。私も、入学センター部長、湘南校舎キャリア支援課長代行とともに参加し、討議に参加させていただきました。

研修会では、入学状況、進路状況に関する大学からの情報提供を踏まえ、活発な議論が行われ、大学に関しても貴重なご意見を頂きました。心から感謝申し上げます。

ご心配いただいている入学状況ですが、18歳人口減少、理系志望増、また地元志向という最近の傾向により、九州からの本学への入学者は減少しております。しかし、そういう中にあつても、工夫次第では多くの受験生に本学を志願して頂けるものと考えています。

討議の中で、大学の広報に対して「親しみを感ぜられない。」というご指摘を頂きました。そして、具体的な改善方策として、大学案内(D

VD)に登場する学生の出身地を示す、出身の地元で活躍している卒業生を紹介するなどご提案を頂きました。ありがとうございました。

今後、検討していきたいと思えます。父母教の皆様は、お子様が文教大学にお入りになったというご縁で本学とまた会員同士で繋がっていらっしやいます。その思いは、お子様の成長と自立の支援であり、そのためにも文教大学がやっていることを知りたいということであろうと思えます。大学としては、その思いにお応えするべくできる限りの努力をしていく所存です。是非、皆様におかれましては、一層のご支援をお願いいたします。



お集りいただいた支部長の皆様方

シリーズ

現場から見た昨今の文教大生気質 ⑥

学生対応で心掛けている点

経営学部 経営学科 教授

湘南学生委員長 幡鎌 博



私が文教大生の気質として感じている点は、素直でおとなしいということです。

もう少しがつつがした感じがあったほうが良いように感じます。ただし、サークルやボランティアなどの活動でがんばっている学生からは、すごく熱いものを感じる時があります。その点で、2013年度より増額していただいた父母教の援助金は、多くの学生の課外活動を支援できるようになったため、大いに役立っています。

素直な学生が多い中で、最近は「上から目線」を嫌う学生が増えてきたように感じます。態度が悪いというわけではないのですが、教員を自分より上とは思いたくないというような感じの学生をよく見かけます。そのような学生との対応には気を使いますが、まずは学生との関係作りを心掛けています。いい関係が作れば、助言を受け入れ

てくれるようにもなります。例えば、

1年前に卒業したゼミ生の中に、2年間ずっと私のことを先生とは呼ばずに「幡鎌さん」と呼んだ男子学生がいました。ある程度対等な関係を望んでいることがうかがえました。彼は、学業には問題なく取り組んでいて、自分の将来を考えてダブルスクールもしたりと、しっかりした学生でした。そのため、さん付けの呼び方を特に直すようなことはしませんでした（なお、単に未熟でいきがっている学生であれば、先生と呼ばせるようにします）。

なお、そのように対等に近い関係を望む学生に対しては、命令的な言い方でなく、理由をしっかりと示して説得するような言い方を心掛けています。心理学の交流分析の考え方でいうと、P（親）―C（子）の関係が嫌な学生には、なるべくA（大人）―A（大人）の関係で接するように私はしています。なお、異なる対応をする教員もいるでしょう。また、文教大生は、全般的にモラル面はある程度しっかりしているように感じます。しかし、他の大学と同様、

レポートのコピペの問題は悩ましいです。

私の担当する科目の多くは、期末にレポートを提出させているので、コピペの問題は深刻です。昔と違ってネットに情報があふれていて、検索すればすぐに調べることができるため、安易にコピペに走ってしまう学生がどうしてもいます。また、前年度と同じレポート課題であれば、先輩が前年度に書いたレポートを流用するような学生もいますので、注意が必要になります。

レポートで成績を付ける場合、レポートの出来よりも、レポートを作るまでのプロセスとして、どの位自分で考えたかを私は重視しています。自分自身で考えることで、その科目の内容を理解できるようになると思うためです。そのため、レポートのほとんどの内容をコピペで作ったり、先輩のレポートを流用するようなことは見逃すわけにはいきません。悪質な場合、単位を落とします。事前にそのことを学生に警告していますが、なかなか無くなりません。

具体的には、私は個人的にコピペルナーというソフトを購入して、コピペをチェックしています。このソフトは、

ファイルで提出されたレポートの「コピペ割合」を算出してくれます。ネット上のコンテンツ（レポート課題に関連する検索語を指定）や、登録した文書（例えば、前年度に提出されたレポート）との類似度からコピペ割合を計算するのです。もちろん、コピペ度が高くても、正当に引用しているだけというレポートもありますので、最終的には読んでみて判断する必要があります。また、そのようなソフトを使わなくても、前年度のレポートの流用を知る方法があります。前年度と同じレポート課題を出す場合でも、気付かない位少しだけ書かせる内容を変えたりします。そうすると、読んでいて、前年度に出した課題の内容が入っていると、前年度の先輩のレポートを流用したのではないかと感づくことができます。

そのように、いろいろと手をつくしてコピペをチェックしています。

私は2年前から湘南キャンパスの学生委員長を務めており、問題を起こした学生をどう指導すればいいかなど、悩みながら、他の教職員の意見を聞きながら考えております。私としては、懲戒時などでも学生の将来のことを考えた指導を心掛けております。

支部派遣教職員報告

その⑬

福島中通り支部研修会

平成27年2月22日(日)

私と福島県郡山市

文学部 日本語日本文学科

教授 寺澤 浩樹



昭和62年4月、26歳だった私が仙台市の東北大学を離れ、初めて教員として赴任したのは、いわき市の福島工業高等専門学校だった。

それから2年間、海沿いの国道六号線を車で走って、毎月仙台市に通った。それから山あいの国道49号線を走って、やはり毎月郡山市にも通った。学問の研究会ではなく、当時仙台にいた交際中の妻に会いに行ったり、新幹線が停まる郡山駅まで送りに行ったりしていたからだ。

久しぶりに郡山駅に降り立ってそんなことを思い出していたが、その時私に本心に考えるべき事は、24名の父母と2名の卒業生が待つ、福島県中通り支部研修会の講話の内容だった。それで開会の13時より少し早く到着した駅前の「市民プラザビッグアイ」の喫茶

店で考えることにした。

コーヒーを飲みながら、最近改めて考えていた文教大学の建学の精神「人間愛」を切り口に、自分が専門としていた『白樺』派の作家武者小路実篤の文芸や、授業で扱っている川端康成、夏目漱石、志賀直哉の文芸などを、学生の様子を交えながら話すことにした。

4人の講師の中で、私の順番が最初だったのは戸惑ったが、それはかえって幸いだった。国際学部の赤坂雅弘先生、経営学部の堀田敬介先生、越谷キャリア支援課の毛利健さんの講話は、きちんと準備された素晴らしい内容だったからだ。

けれども、講話という荷が下りた肩は軽くなり、個別面談では、語学研修や免許・資格取得や大学のカリキュラムや学生の生活などに関する熱心な父母の質問への対応に没頭している間に、予定された時間は早々と過ぎていった。

閉会後の懇親会では、いつの間にか自分が同世代となっていた父母と楽しい時間を過ごさせて頂いた。支部の皆様方には、改めてお礼申し上げます。

栃木県支部研修会

栃木県支部研修会に参加して

情報学部 情報システム学科

准教授 池辺 正典



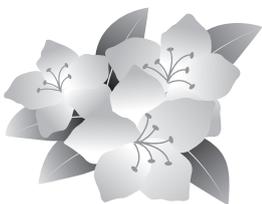
平成27年2月21日(土)に開催された支部研修会では、45名のご父母の皆様のご参加を頂きました。

研修会の第一部では、湘南校舎の教員から「大学生とインターネット」と題して、スマートフォンに代表されるように急速に変化しつつある現在の情報環境について、大学生を取り巻く状況についての研修を行いました。特に、就職支援サイトの学生生活調査の結果等から大学生の考える就職活動でのインターネットの活用方法もスマートフォンの登場により近年大きな変化が見られる点が印象的であったように思います。さらに、ソーシャルメディアについて、企業等でのこれらのメディアの活用も進んでいる社会背景を踏まえると、メリット・デメリットを理解した上で、のソーシャルメディアとの付き合い方が重要であるという点について

の確認も行われました。

また、第二部では、越谷・湘南の両校舎に分かれて「キャンパス別懇談会」を行いました。懇談会の内容としては、最初に、全員の自己紹介があり、次に、各キャンパスの就職状況や卒業までの大学の就職支援についての取り組みが教職員より紹介されました。そして、その内容を踏まえた上で就職活動の時期において、学生がご父母の皆様にとどのような期待を抱くことが多いのかという点について教職員より説明がありました。ご父母の皆様と教職員の互いの視点から学生の就職活動に対して、どのような支援を行うことが必要であるか多様な意見交換を行うことができ、大変有意義な時間を過ごすことができましたと感じております。

本研修会で頂きましたご意見を参考に、今後の教育活動や学生支援に活かしたいと考えております。



学内訪問「どんなところ？」

越谷校舎 保健センター

越谷校舎 教育支援課
課長 菅沼 隆昭

越谷校舎保健センターには、医務室と相談室があり、よりよい学生生活を送れるよう身体面・精神面での健康をサポートしています。

医務室では、日常的な応急処置はもとより、毎年4月に定期健康診断を実施しています。受診率は高く90%の学生が決められた期間で受診しています。同時に健康調査も行い、状況を確認後、必要に応じて、内科医・婦人科医・精神科医の健康相談に繋いだり、医療機関へ紹介することもあります。

大学生のメンタルヘルスケアの必要性は年々高まってきています。相談室では、男性3名、女性3名の非常勤カウンセラーを配置し、学生の相談業務に対応しています。

毎週水曜日は、全員の勤務日とし相談室内での情報を共有できるようミーティングを行い、またインターカールを設け継続での面接担当者を振り分けています。学生の利用も増加

父母のための一日大学 ～父母と教職員の会による～ プログラム(案)

日時：平成27年6月7日(日)

湘南キャンパス

於：文教大学湘南校舎

9:30～	受付開始
10:30～11:40	① 学科別 父母会員と教職員の懇談会
11:50～13:30	② 父母会員と教職員の懇親会 ※アルコール飲料は用意しておりません
13:45～14:45	③ 特別講座・学内見学ツアー1便
	(1) 「海外事例から考えるメディアと情報の自治のあり方について —マスコミ批判とIT革命神話を超えて—」 情報学部 酒井 信先生
	(2) 「『市民の参加と決定』の時代の国際学部における学び —熟議の理解と実践にもとづくこれからの社会—」 国際学部 山田 修嗣先生
	(3) 「健康であるということ」 健康栄養学部 渡邊 美樹先生
	(4) 「今から退職後の生活に備える」 経営学部 鈴木 誠先生
15:00～16:00	④ 国際学部短期留学説明会・キャリア支援課講話・学内見学ツアー2便
	(1) 短期留学説明会(体験発表) 国際学部
	(2) 講話「就職活動におけるご父母の心構え」 キャリア支援課
	(3) 学内見学ツアー2便 ※

※ スタジオ、メディア棟、外国語ラウンジ、図書館、太陽光発電パネル、学生の支援、健康栄養学部施設など

*5月にご案内を送付させていただきます。

越谷キャンパス

於：文教大学越谷校舎

9:30～	受付開始	[正門前 3号館入口]
10:30～12:00	教室別懇談会	[各教室]
12:05～13:15	昼食会	[学生食堂1階]
13:30～14:30	講 話 ① 「江戸後期から明治時代にかけての中国文化受容について —『論語』、『三国志』、漢文脈を中心に—」 文学部 阿川 修三先生 [12101教室]	
	② 「進路の現状と今後の支援について」 就職委員長・人間科学部 石橋 昭良先生 [13101教室]	
14:45～15:45	講 話 ③ 「暮らしに役立つ心理学—あなたは楽観的?悲観的?」 人間科学部 城 佳子先生 [12101教室]	
	④ クラブ・サークル発表 [13101教室他]	
13:30～15:45	講 話 ⑤ コーラス・ワークショップ 声楽がご専門の三谷先生のご指導で、一日大学参加者と学生有志とで合唱曲を仕上げ、懇親会においてその成果を発表していただくというワークショップです。 教育学部 三谷 亜矢先生 [511教室]	
16:00～17:30	父母と教職員の懇親会 (含むコーラス・ワークショップの成果発表)	[学生食堂2階]

*5月にご案内を送付させていただきます。

医 務 室	開室時間：9:00～16:30(月～金) 9:00～11:30(土)
	電 話：048-974-0055(直通)
	内科医：週1回火曜日(11:30～13:30)
	婦人科医：月1回月曜日(11:30～13:30) 精神科医：月1回木曜日(11:00～13:00)
相 談 室	開室時間：9:00～17:00(月～金)
	電 話：048-974-9211(直通)
	e-mail：k-soudan@stf.bunkyo.ac.jp (予約専用)

傾向にあり、相談者一人の来室件数が増え、相談が継続する傾向にもあります。

また、その他学生向け講座として、ヨガやアロマセラピーの講座を開催したり、フリースペースを利用してグループワークなども新しく取り入れながら利用しやすい環境作りを心掛けています



湘 南 平成27年度行事予定

4.1～4.11	在学生・新入生オリエンテーション・健康診断
4.6	入学式(有楽町・東京国際フォーラム)
4.13	春学期授業開始
5.16	新任教職員の皆さまをお迎えする会
6.6	父母と教職員の会 第30回代議員会(越谷校舎)
6.7	父母のための一日大学
7.24	春学期授業終了
7.25～7.31	春学期定期試験
8.1～8.24	夏季休業
9月上旬	会報114号発行予定
9.3	4年生春学期成績発表
9.4	1～3年生春学期成績発表
9.24	秋学期授業開始
9.24	9月期卒業式
10.17	創立記念日
10.24	親と子のための進路問題研修会
11.6～11.9	饗塔祭
11.14～11.15	父母と教職員の会 支部長研修会(湘南校舎)
11.16	推薦・留学生・帰国生・社会人入試
12.23	授業終了
12.25～1.7	冬季休業
12月下旬	会報115号発行予定
1.8	授業再開
1.25	秋学期授業終了
1.26～2.2	秋学期定期試験
2.1	地区入学試験
2.7～2.9	A日程入学試験1期
2.20	4年生秋学期成績発表
2.26	A日程入学試験2期
3.6	B日程入学試験
3.7	卒業審査会
3.9	1～3年生秋学期成績発表
3.11	卒業生発表
3.19	卒業式
3.22	春季休業開始
3月下旬	会報116号発行予定

(太字は父母教関係)

越 谷 平成27年度行事予定

3.31～4.4	新年度オリエンテーション・健康診断期間
4.6	入学式(有楽町・東京国際フォーラム)
4.7	春学期授業開始
5.7	新入生歓迎スポーツ大会
5.16	新任教職員の皆さまをお迎えする会
6.5	学友会総会
6.6	父母と教職員の会 第30回代議員会(越谷校舎)
6.7	父母のための一日大学
7.25	春学期授業終了
7.27～8.1	春学期定期試験
8.8～9.3	夏季休業
9月上旬	会報114号発行予定
9.4	成績発表
9.11	秋学期授業開始
9.25	9月期卒業式(予定)
10.16	体育祭
10.17	創立記念日
10.29～11.2	藍蓼祭
11.14～11.15	父母と教職員の会 支部長研修会(湘南校舎)
11.21～11.22	推薦入学試験
12.3	学友会総会
12.12	親と子のための進路問題研修会
12.24	授業終了
12.25～1.7	冬季休業
12月下旬	会報115号発行予定
1.8	授業再開
1.16～1.17	大学入試センター試験
1.25	秋学期授業終了
1.26～2.1	秋学期定期試験
2.1	地区入学試験
2.7～2.10	A日程入学試験
2.19	成績発表(4年生)
3.6	B日程入学試験
3.10	卒業生発表
3.16	卒業式
3.17～3.30	春季休業
3月下旬	会報116号発行予定
3.31	1～3年生成績発表(予定)

(太字は父母教関係)



学生活動紹介

合唱団コールリンド(越谷校舎)

人間科学部心理学科

3年 大橋 彩侑実

私たち文教大学合唱団コールリンドは、部員30人程度の部活です。外部から合唱指揮者である間谷勇先生にお越しいただき、指導をしていただいています。毎年夏に行われる合唱コンクールにおいてより良い成績を残すために、火曜日と金曜日の週に2回の練習を行っています。昨年度からは、山梨大学合唱団、慶応義塾大学混声合唱団、千葉大学、横浜市立大学混声合唱団、千葉大学合唱団、文教大学合唱団コールリンドの5大学合同で行われる、マリステラコンサートにも出演させていただきました。コールリンドとして、今までにない大きな経験を得ることができました。また、越谷にて活動をなさっているサンシティ市民合唱団の定期演奏会において、開演前のロビーにてミニコンサートをさせていただくなど、地域の皆様方とも根強く関わりを持つことができればと思っています。他にも、間谷先生が合唱指導をなさっている、千葉室内合唱団Vox Aeternaの定期演奏会において賛助出演をさせてい

ただくなど、合唱を通して大学内に留まらず、幅広い関わりを持つようになっています。また一昨年度からは、日々の練習の成果と感謝を日頃お世話になっている地域の皆様や家族、OB・OGの方々などに伝えるため、外部のホールを使用した定期演奏会を開催しています。時間と費用のかかる事ではありますが、父母と教職員の会の皆様にもご援助をいただき、より洗練された演奏を多くの方に聴いていただけるように努めています。引き続きこれからもご支援、ご助力の程、よろしくお願ひ致します。



情報社会研究会(湘南校舎)

情報学部 情報社会学科

1年 北岡 悟

私たち情報社会研究会は、2014年の情報学部リニューアルによって生まれた「情報社会学科」とともに、誕生しました。つまり、まだ設立から1年もたっていません。だからこそ、いろいろなことを模索してきました。

この情報社会研究会では、「一人一人のスキルアップ」と「情報社会への理解を深める」ということを目的として活動しています。どちらも、大学の学びでも必要ですし、就職するにあたって必要なことです。

一人一人のスキルアップとして、資格試験合格を目指すこととしました。目指す試験は、「基本情報技術者試験」です。勉強していく中で、自分たちはデジタルネイティブと言われ、生まれながらにITに親しんでいるもの、それがどういう仕組みでできているのか、などを知らないことに気が付きました。利用者である自分たちは、それを理解する必要はなかったのです。

情報社会への理解を深めるとありましたが、それがこれにあたります。自分たちはこれから、情報社会で活躍し



ていく人材になることが求められます。授業理解を深めるだけでなく、自分の知識となり、将来にも役立ちます。

この二つの目的は、最初は別のものとして考えていました。ですが、次第にそうではないことに気が付きました。理解を深めるために、全員で資格試験の本を買ったりしました。ですが、情報社会は移り変わりが激しく、内容がついていけないことも多くあることを実感し、父母と教職員の会からの援助金をいただき、情報系の展示会に行ったり、学会に行ったりし、最新の情報収集を通して、理解を深めるスキルアップの活動をしています。

今後も、大学での学びに加え、スキルアップを図っていきたいと思っています。

文教大学生涯学習センターからのお知らせ

生涯学習センターでは、下記の講座を開講します。学内で格安に受検できる検定資格試験、対策講座もご用意していますので、ご子女にもお勧めください。「文教大学父母と教職員の会」会員本人（会費をお支払いいただいている方のみ）及びその子女が受講される場合は、受講料の一部（受講料の1割程度／1講座につき上限4,000円）が「父母と教職員の会」から援助されます。皆様の受講をお待ちしています。

資格取得講座・検定試験（学生対象）

越谷キャンパス

- ◆資格取得講座
 - ・秘書技能検定対策
 - *日商簿記検定対策
 - ・保育士試験対策
 - ・Excel表計算処理技能認定対策
 - *TOEIC対策
 - *医療事務対策
- ◆検定試験
 - ・Excel表計算処理技能認定試験
 - ・TOEIC IPテスト
 - ・日本語検定
 - ・秘書技能検定
- ◆実用語学講座
 - *英会話
 - *中国語
 - *韓国語
- ◆その他
 - *手話会話
(入門・初級・中級・上級)

*印の講座は一般の方も受講できます。

湘南キャンパス

- ◆資格取得講座
 - ・秘書技能認定試験対策(準1級・2級)
 - ・日商簿記検定試験対策
 - ・Word文書処理技能認定試験対策
 - ・Excel表計算処理技能認定試験対策
 - ・PowerPoint技能認定試験対策
 - ・旅行業務取扱管理者試験対策
 - ・販売士検定試験対策(2級・3級)
 - ・TOEIC対策
 - ・医療事務
- ◆検定試験
 - ・Word文書処理技能認定試験
 - ・Excel表計算処理技能認定試験
 - ・PowerPoint技能認定試験
 - ・旅行地理検定(国内・海外)
 - ・世界遺産検定
 - ・TOEIC IPテスト
 - ・実用英語検定(英検)
 - ・日本漢字能力検定(漢検)
 - ・日本語検定
 - ・BJTビジネス日本語能力テスト
 - ・秘書技能検定
 - ・日商簿記検定(外部会場)
- ◆就職対策講座
 - ・公務員等対策基礎力養成セミナー
 - ・公務員対策講座
- ◆実用語学講座
 - *キャリアイングリッシュ講座

文教大学オープンユニバーシティ

越谷キャンパス

- ◆特別講演
 - 生涯学習のススメ
- ◆特別講座
 - 13講座開講予定
- ◆教養講座
 - 28講座開講予定
- ◆実用語学講座
 - ・英会話・中国語・韓国語
- ◆趣味講座
 - ・デジタルカメラ講座
 - ・囲碁・書道・ペン字
 - ・気功・太極拳
 - ・ヨガ・フラメンコ
 - ・ポル ド ブラ
 - ・フラダンス
- ◆パソコン講座
 - 4講座開講
- ◆親子科学教室
- ◆資格取得講座
- ◆文教大学市民フォーラム
- ◆外国人のための日本語講座
- ◆子育て支援カウンセリング講座

湘南キャンパス

- ◆教養講座
 - 21講座開講予定
- ◆実用語学講座
 - ・キャリアイングリッシュ講座
 - ・英会話・中国語・アラビア語
- ◆パソコン講座
 - ・Excel2013を使いこなそう
 - ・Excel VBAプログラム入門・実践講座
- ◆趣味講座
 - ・書道・ペン字・絵画
 - ・カリグラフィー(西洋書道)
 - ・ラジオパーソナリティーと楽しむ昭和の名曲

現職教員対象講座

教員免許状更新講習	平成27年度も越谷キャンパス及び湘南キャンパスで開講します。 3月27日より仮申込受付開始予定です。詳しくは本学のHPをご覧ください。	越谷：6～8月 湘南：6～8月
学級づくりセミナー	多様な立場から学級づくりの理論と実践について幅広く学んでいただける内容を、 ゲスト講師も迎えて提供します。	8月20日(木)

お問合せ・資料請求

TEL 0120-160-449

URL <http://www.koshigaya.bunkyo.ac.jp/shougai/>

E-mail shougai@stf.bunkyo.ac.jp

**国際学部推薦入試生
保護者対象説明会の実施**

国際学部長 奥田 孝晴

2015年1月24日(土)、恒例の2015年度推薦入試合格者の保護者皆様を対象とした学部説明会を実施いたしました。この会は今年で7回目の実施でしたが、保護者皆様との触れ合いと学部紹介を通じて不安を少しでも解消すべく、私をはじめ関係教員より、国際学という「学び」の意義、学部・学科の特徴、単位修得に関するお知らせ等について説明をさせていただきました。また協賛の父母と教職員の会より森副会長(神奈川県支部長)にご参加いただき、本会の意義等についてもお話をさせていただきました。参加していただいた約75家族、120名近い保護者・合格者の皆様との貴重な機会を持ってたことを嬉しく思うと共に、ご協力いただいた関係者皆様に、心より感謝申し上げます。



**経営学部入学予定者・
保護者説明会について**

経営学部 准教授 石田 晴美

2015年3月14日(土)、入学予定者・保護者説明会を実施し、100家族・約200人の皆さまにお越し頂きました。午前中は「大学での学びの姿勢を身につける」と題した講演とキャンパスツアー。その後食堂で軽食&懇話会を実施し、父母と教職員の会・森弘幸副会長にお越し頂き、ご挨拶を頂戴しました。午後は「卒業生体験談報告」として、一般企業、公務員、公認会計士短答式試験合格者の3人の卒業生を招き、主に現在の仕事内容ややりがい、就職活動や新1年生へのエール等を熱く語ってもらいました。次に「記憶に残るメッセージを届けたい」と演劇集団キャンパス・アクターによる35分間のミニライブを実施しました。今回の脚本作りにには経営学部教員も参加し、大学中退のデメリットやブラックバイト、自立・自律の大切さ等を演劇で表現してもらいました。大学入学前のお忙しい時期にもかかわらず大勢の皆さまにお越し頂いたことに深く感謝するとともに、ご協力頂いた関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。

平成26年度課外活動表彰者一覧(敬称略)

◇越谷キャンパス◇

◇個人/本部役員◇

- | | |
|--------|-------|
| 江田 昌司 | 寺嶋 雄一 |
| 長内 麻耶 | 中山 綾乃 |
| 渡邊 大貴 | 及川 律美 |
| 武藤 優介 | 野尻 隼平 |
| 後藤 航平 | 宮川 彩生 |
| 中山 慎之介 | |

◇個人◇

- | | |
|-------|--------|
| 伊東 洸哉 | 保前 智行 |
| 内山 優輝 | 下津谷 幸恵 |
| 松坂 理生 | |

◇団体◇

- | | |
|-------------|-----------|
| 女子バドミントン部 | 男子ソフトボール部 |
| 女子ソフトテニス部 | 男子ハンドボール部 |
| 女子硬式テニス部 | 卓球部 |
| 男子バスケットボール部 | 吹奏楽部 |
| 男子ソフトテニス部 | |

◇湘南キャンパス◇

◇個人/本部役員◇

- | | |
|--------|--------|
| 中根 大貴 | 仲井 祥 |
| 佐藤 奈津子 | 滝澤 明浩 |
| 部 彌奈恵 | 片寄 紗奈 |
| 八本 駿 | 石川 真世 |
| 石坂 康平 | 松本 有里香 |
| 吉原 直孝 | |

◇団体◇

- | | |
|-----------|---------|
| 和太鼓部 楓 | ソフトテニス部 |
| ライフセービング部 | 軟式野球部 |

- | | |
|-----------|--------------------|
| 男子ソフトボール部 | 茶道部 |
| バドミントン部 | 吹奏楽部 |
| 陸上競技部 | 放送部 |
| 弓道部 | Media Studies Cafe |
| 女子ソフトボール部 | FOGPARTY |
| 演劇部 | Plumeria |

父母と教職員の会では、今後もお子様のキャンパスライフを身近に感じていただけるような誌面作りをめざします。皆様のご感想などを父母と教職員の会事務局までお寄せいただければ幸いです。

e-mail
fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp

編集後記

越谷キャンパスのすぐ側を流れている元荒川には有名な桜堤があります。桜の季節になると多くの老若男女でにぎわいます。しかしながらキャンパス内の事務局が入っている建物の傍らにも桜の木があり、この桜が咲くたびに、「きれいに咲いてくれてありがとう。今年もよろしく!」と挨拶をしています。

何もかもが新しく輝いて見える季節です。願わくは花粉があまり飛びませんように。(K)